

令和2年度の

財政状況をお知らせします

【問い合わせ】財政課（☎ 829-1126）

※令和3年3月31日時点の金額です。最終的な金額（決算額）ではありません。

一般会計 福祉サービス、道路や公園の建設、環境衛生など、市が行う仕事の中心となる部分の会計です。市税などが主な財源になっています。

予算額	収入済額	収入率	支出済額	執行率
3,094億3,000万円	2,381億9,800万円	77.0%	2,386億3,800万円	77.1%

特別会計 国民健康保険や介護保険事業、駐車場事業など特定の収入（保険料や使用料など）で、その事業の支出をまかなう会計です。

予算額	収入済額	収入率	支出済額	執行率
1,143億9,900万円	972億8,700万円	85.0%	1,009億600万円	88.2%

企業会計 その事業の収益（使用料など）で支出をまかない、経営を行う独立採算制の会計です。

収益的収入と支出 企業の経営活動により発生する収益と、それに対応する費用

資本的収入と支出 企業の将来の経営活動に備えて行う建設改良費や企業償還金などの支出と、その財源となる収入

区分	水道事業会計		区分	下水道事業会計	
	予算額	執行額		予算額	執行額
収益的	収入	118億7,100万円	117億6,700万円	収入	133億8,800万円
	支出	105億4,000万円	103億2,600万円	支出	119億200万円
資本的	収入	8億7,100万円	6億900万円	収入	91億8,600万円
	支出	75億8,600万円	57億2,900万円	支出	136億6,100万円

(市債の状況)

市債

市債とは、長期間使う学校や道路などの建設や、災害復旧工事などを行うための借金のことです。市債を財源として事業をすることで、将来の住民にも負担してもらうことができ、世代間で公平な負担ができます。

区分	令和2年度末市債残高見込み
一般会計	2,764億3,500万円
特別会計	151億3,700万円
企業会計	779億8,400万円
合計	3,695億5,600万円

その他の財政状況

市の財産

地域センターの土地や建物、公園の遊具などの財産があります。

合計
6,330億7,900万円

市民の税負担

令和3年3月31日時点の長崎市人口・世帯数で算出しています。

市民の税負担（予算額）	
132,167円/人	262,240円/世帯

一時借入金の状況

一会計年度内において、収入と支出の一時的な不均衡による支払資金の不足を補うための一時的な借入金です。令和3年3月31日時点、一時借入金はありません（全会計合計）。

今後の財政運営

新型コロナウイルスの影響による感染拡大防止対策や社会経済対策などの歳出面の増加に加え、市税等の減収、人口減少に伴う地方交付税の減少などにより、厳しい財政運営が見込まれますが、国の財政支援措置や基金の活用、業務の見直しによる持続可能な財政運営を図りつつ、コロナ禍を乗り越え、未来への投資にもしっかりと取り組んでいきます。